

最新の設備と環境。
充実したプログラムを実現する。

高度医療人育成センター

"研修医の医局"として初期研修医には3階全フロアーが用意されています。
『卒後臨床研修センター』の働きがより充実されました。地域の方へのセミナー・臨床技能研修・女性医師支援などを行う多目的の施設ともなっています。

5F 研修室

4F OSCE (客観的臨床技能試験) 室

3F 卒後臨床研修センター

2F 臨床技能研修センター(スキルスラバ)

1F 地域医療支援推進室(パソコンルーム)

シミュレータ教育を取り入れ、確実にあなたの身になる研修をサポートします。苦手な手技の修得やチーム医療実践のためのプログラムなど随時実施します。



バーチャル内視鏡シミュレータ



手術支援ロボットトレーナー

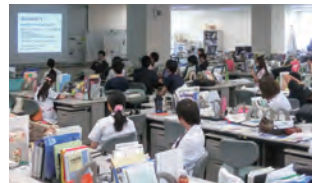


高機能シミュレータ

快適な研修環境

"研修医の医局"として用意されている研修医室は、平成21年12月に完成した高度医療人育成センター 3階全フロアーを使い、一人一人に机とLANケーブルが用意されています。

また、シャワールームやアメニティ部分も充実しています。



ランチョンセミナー



研修医室



共有スペース

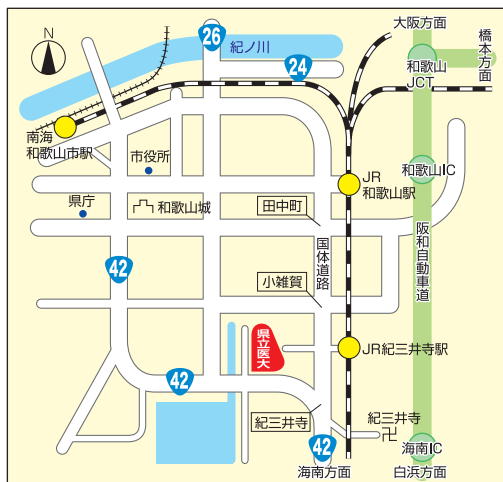


ロッカールーム



シャワールーム

Access

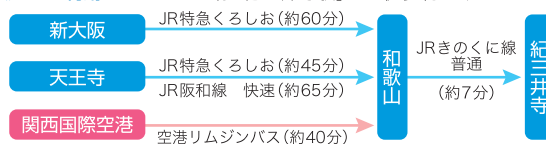


和歌山県立医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1
TEL:073-441-0575 FAX:073-441-0576
E-mail:sotugo@wakayama-med.ac.jp
<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo>

交通アクセス

鉄道のご利用 JRきのくに線「紀三井寺駅」から徒歩約10分



バスのご利用

和歌山バス「医大病院」下車すぐ
和歌山バス・有田鉄道バス・大十バス各社「医大病院前」から徒歩約3分
和歌山バス「医大病院東口」から徒歩約5分
※主要駅(JR和歌山駅・海南駅・海南和歌山市駅)から運行しています。

見学随時受付します



DATA

●附属病院の特徴

和歌山県立医科大学附属病院は、高度で先進的な医療を提供し、あらゆる分野の疾患に対して総合的な診療ができる県内で唯一の特定機能病院です。また、都道府県がん診療連携拠点病院、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターなど多くの指定を公的機関から受けています。手術支援ロボット「ダヴィンチ」、強度変調型放射線治療「トモセラピー」、心血管疾患に対して新たに血管内治療と外科的治療を組み合わせた「ハイブリット手術室」など、最先端医療の充実を図り、患者さんにより安全で正確な手術を提供しています。

●概要

医師数：487名／研修医：131名／許可病床数：一般病床760床(内訳ICU10床、HCU15床、CCU5床、NICU9床、GCU18床、MFICU3床、小児センター40床、7対1病床660床)、精神病床40床／標榜診療科 27科(糖内・消内・呼内・循内・精神・神経・小児・心外・呼乳外・消外・脳・整・皮・泌・産婦・眼・耳鼻・放・麻・リハ・歯外・血内・救急・腎内・病理・リウマチ・形成)(H29.4.1現在)
平均在院日数 14.5日／病床利用率 82.2％／1日平均入院患者数 657.5人／1日平均外来患者数 1,509人／紹介率 83.4％／救急者搬入患者数 5,157人(内ドクターヘリ搬送患者数 432人)／手術件数 8,927件／放射線治療件数 9,804件／内視鏡治療件数 1,248件／分娩件数 560件 (H28年度実績)

大学病院ならではの 教育環境と 市民病院がもつ 活気の中で。



公立大学法人
和歌山県立医科大学
Wakayama Medical University

平成30年度採用
**研修医
募集**



自由度の高いプログラムで 医師としてのスタートを切る。

研修で大切なことは、医師としての基本を身につけることはもちろんのこと、将来、自分の進むべき方向を決定する機会と指導医との良い出会いを持つことです。本院の研修は自由度が高いプログラムが特徴で、将来を考えて自分にあった選択ができます。また、大学病院として、各診療科での高度先進医療に触れる機会から、1次から3次救急に至るまで幅広い症例を経験できる高度救命救急センターでの研修が組み込まれています。それに加えて紀北分院での総合診療をはじめ、県内外での協力病院の研修を通じて多くの疾患を経験し、実力をつけて下さい。本院での研修を通じて医師として人間として一段と成長してくれることを期待しています。



附属病院長

山上 裕機

プログラムの特徴

和歌山県立医科大学は
どのような
研修にも
対応できます。

「日本一の研修病院を目指して」

1 自由度が高い

必修科・選択科を問わず、1ヶ月から研修が可能です。ローテートを決める研修医会議を3ヶ月ごとに行い、情報を交換しながら自分の希望に合わせた研修プランを立てることができます。

また、協力型臨床研修病院・施設も多くあり、大学病院とは違う環境を味わえるなど、幅広い経験をすることが可能です。そのため、将来進みたい科が決まっている方も、決まっていなくてもご安心下さい！他にはない本院の自由なプログラムで2年間の研修を柔軟に充実させましょう。

2 プライマリ・ケア能力の飛躍的UP

1次~3次まで幅広い重症度の患者さんを救命救急センターにて、圧倒的な質と量で研修できる救急研修こそが、プライマリ・ケア能力を飛躍的にのびします。

3 大学病院ならではの 全科サポート、恵まれた環境

プライマリ・ケアから専門科診療に至るまで完結した研修が実現できます。

下記のローテート先を自由に選択できます。

〈和歌山県立医科大学附属病院〉

- 内科系 糖尿病・内分泌・代謝内科、消化器内科、呼吸器内科・腫瘍内科、循環器内科、腎臓内科（人工透析）、血液内科、神経内科
- 高度救命救急センター（救急集中治療部）
- 選択 リウマチ・膠原病科、小児科、神経精神科、心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科、消化器・内分泌・小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、腫瘍センター（緩和ケア）、臨床検査医学

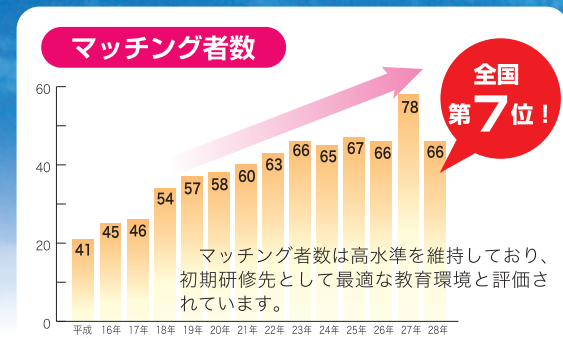
〈協力型臨床研修施設〉

◆研修ネットワーク参加施設（全科で研修可能）

日本赤十字社和歌山医療センター、独立行政法人労働者健康安全機構和歌山ろうさい病院、和歌山生協病院、橋本市民病院、国保日高総合病院、独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター、紀南病院、新宮市立医療センター

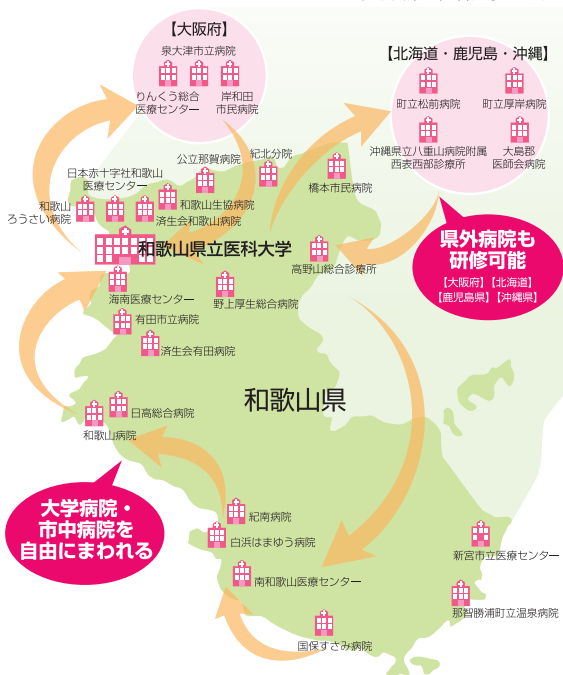
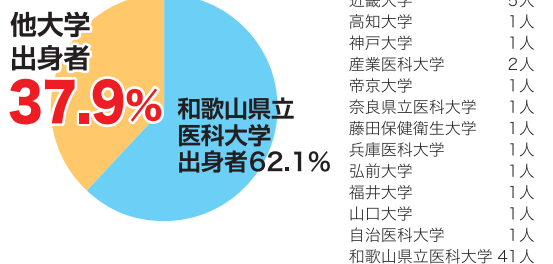
◆その他施設

済生会和歌山病院[内科・外科]、済生会有田病院[内科]、公立那賀病院[内科・外科・産婦人科]、海南医療センター[内科]、有田市立病院[内科]、泉大津市立病院（大阪府）[内科・外科・小児科]、岸和田市民病院[内科・外科]、りんくう総合医療センター [全科]、和歌山県立医科大学附属病院紀北分院[内科・外科]、高野町立高野山総合診療所、国立病院機構和歌山病院、白浜はまゆう病院、国保すさみ病院、国保野上厚生総合病院、那智勝浦町立温泉病院、町立厚岸病院（北海道）、町立松前病院（北海道）、大島郡医師会病院（鹿児島県）、沖縄県立八重山病院附属西表西部診療所（沖縄県）、和歌山市保健所、海南保健所、岩出保健所、橋本保健所、湯浅保健所、御坊保健所



出身大学

地方大学で**66人**もマッチしています。このうち他大学出身者は**25名**これは全体の**37.9%**になります！



先輩研修医のプログラム

山田裕規 医師の場合 (和歌山県立医科大学出身)



本院の研修プログラムの魅力は選択肢の幅が広く、自由度が高いことです。

研修医同士で話し合い、3ヶ月毎に研修先を決めていくため、その都度自分の意志を反映させて選択することができます。大学病院での最先端の医療だけでなく、市中病院での地域に密着した医療まで幅広く経験を積むことができます。

私の場合は研修開始の時点では志望科を決めておらず、当初は多くの科を回りました。研修が進むにつれて内科に興味を持つようになり、研修後半は内科を中心に回りました。まだ志望科が決まっていなかった方は多くの科を回ったり、同じ科を再度回ったり、大学・市中病院の両方を回ることによってじっくり選ぶことができます。また既に科を決めている方も、その科に関係する科を重点的に回ったりと、自分の意志で方向性を決定できるので、有意義な研修生活を送ることができると思います。

【2年間のローテート例】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |

1年次	麻酔科	眼科	リハビリ	腎臓内科	耳鼻咽喉科	救急
2年次	神経精神科	野上地域医療	那賀（内）	消化器内科	済生会和歌山（内）	那賀（内）

日野倫子 医師の場合 (滋賀医科大学出身)



自由度の高さが、和歌山県立医大での研修の一番の魅力です。人数枠により必ず計画通りに行くとは限りませんが、研修を受ける科や病院、時期や期間まで、自分で考えて組み立てることが出来ます。

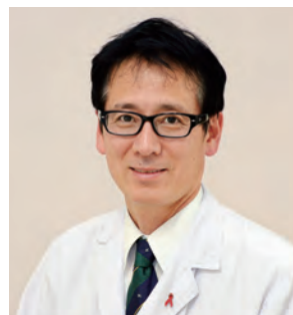
研修先を決めるのは3か月毎なので、研修が始まってから回ってみたい科が増えたとしても臨機応変に変更出来ます。また、和歌山県内外の市中病院にも研修に行けます。例えば私は、志望する科は大学病院でより専門的に、メジャーな科は市中病院で common disease を中心に、というように病院を選択しました。どのようにローテートするかはとても悩みますが、自分が何を学びたいかを主体的に考える良い機会になっています。

【2年間のローテート例】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |

1年次	腎臓内科	小児科	放射線科	ろうさい（内科）	（産科） （産科）	新宮（循内）	新宮（外科）
2年次	病理診断科	（放射線科） （放射線科）	救急	（地域） （地域）	麻酔科	臨床検査医学	病理診断科 放射線科

卒後臨床研修の目標



卒後臨床研修センター長
園木 孝志

初期研修の目標は医師としての基本的な態度、技術、知識を得ることです。最も大切なことは、自分の専門外であっても正しくトリアージし診療の方向性をつけられることだと考えています。一次医療から三次医療まで広く経験可能で、研究的診療も展開している当院は、まさに初期研修の場としてふさわしいと自負しています。

研修医勉強会

1年を通して各科の先生より基本的な必須知識や救急疾患のミニレクチャーが昼休みに行なわれています。また、研修医が主体となり各科の協力を得て、画像読影、心電図、実技、症例ディスカッションなど様々な勉強会を定期的に開催しています。



大学院入学が可能

初期臨床研修期間であっても、本学大学院博士課程での勉学との両立が可能です。

AHA-BLSヘルスケアプロバイダーコースの実施

採用時のオリエンテーションで、BLS講習を行います。この講習を修了し合格すれば、ヘルスケアプロバイダーカードが発行されます。受講料は無料です。



急性期医療への対応（高度救命救急センター）

本院の大きな特色のひとつである1次～3次救急では、救急専門スタッフ+各科のスペシャリストが協調して対応しています。プライマリ・ケアの能力向上をめざし、診断から治療までの完結した研修で、自己の課題に気づくことができるでしょう。

※研修医も希望すればドクターヘリの搭乗勤務が可能です。



短期海外留学研修

希望があれば2年目に短期の海外留学研修が可能です。約2週間海外の医療と日本との違いを学び、世界的な先進医療に触れることができます。海外で活躍している和医大のOBがホスト役となって留学を手助けしてくれるので安心です。

和歌山研修ネットワーク参加

和歌山県内の9つの基幹型臨床研修病院全てが相互に協力病院となることにより、病院や診療科の選択肢を広げた臨床研修プログラムに参加しています。